

事業番号	02 09 01	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部交通政策局
		課・室	交通政策課
		実施期間	S47 ~
		E-mail	kotsu @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・人口減少の急速な進行や新型コロナウイルス感染症の感染拡大により利用者が減少し、交通事業者の経営は急速に悪化。加えて運転手の働き方改革に伴う担い手不足が深刻化し、路線バスを始めとする公共交通を民間事業者の独立採算により維持していくことは困難な状況。
- ・観光客を含む利用者の利便性向上を図る取組の必要性が増す一方で、公共交通機関のキャッシュレス決済の導入や公共交通情報のオープンデータ整備は限定的。

2 事業目的

- ・自家用車に頼らなくても大きな不便を感じずに、誰もが安心して通院・通学などの日常生活を送ることができるよう、持続可能な社会を支える地域公共交通の維持・確保を図る。
- ・利用者が公共交通機関で目的地まで行く際に、円滑に移動できる環境を整備する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域公共交通の担い手確保**
- ・深刻化するドライバー不足に対応するため、バス・タクシー・トラックドライバー等の人材確保の取組を実施
 - ・喫緊の課題であるバスドライバー不足に対応するため、県外から移住し、県内バス会社に就職するドライバーに対して移住に係る取組を支援
- ②持続可能な地域公共交通ネットワークの構築**
- ・地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者に対し、運行欠損費を補助
 - ・バス車両のバリアフリー化や老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者に対し、低床バスの減価償却費等を補助
 - ・県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者へ貸与
 - ・【拡】長野県地域公共交通計画で定めた「通院・通学・観光」に必要な移動の品質保証を10地域で具体化するため、必要なデータ整備を行うとともに、地域別部会の伴走支援を実施
 - ・【拡】長野・飯田間を結ぶ高速乗合バス路線（みずずハイウェイバス）を実証的に増便して利便性の向上を図るとともに、運行に要する経費を支援
 - ・【拡】公共交通等を地域住民や来訪者が使えない「交通空白」の解消を図るため、国と協働して市町村等に対する伴走支援を行うとともに、NPO法人等に対し、自家用有償旅客運送等の開始に要する経費を支援
- ③利用しやすい地域公共交通の実現**
- ・県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、地域連携ICカードの導入に係る経費を支援
 - ・【新】令和8年4月からサービスを開始する県下統一地域連携ICカードの事務局整備等を実施
 - ・【新】県内公共交通機関の利便性向上のため、新たなバスロケーションシステムを開発・導入

4 成果指標

（推移の凡例 ア：改善 ヲ：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	達成状況	目標値設定理由	
			実績	実績	推移	見込			推移
①	県内の乗合バス・タクシードライバー数	人	3,976	3,884	〆	4,048	ア	4,212	地域公共交通の担い手を確保するため、県内のドライバー数を指標として設定した。令和10年度に4,700人にすることが目標であるため、令和7年度は左記のとおりとした。
②	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	人	22.9	23.8	ア	25.1	ア	23.8	地域間幹線バス路線を維持するため、1日当たり輸送量を指標として設定し、直近の実績値を維持することを目標とする。
③	地域連携ICカード導入に対する支援受入圏域数（累計）	件	-	1	ア	2	ア	5	公共交通機関のキャッシュレス化を推進し、地域連携ICカードが利用可能な圏域を拡大するため、導入に対する支援受入圏域数を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度別の状況				目標			
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-4④	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	☆公共交通機関利用者数	千人	2020 (R2)	69,077	2021 (R3)	72,438	2022 (R4)	82,180	2026 (R8)	100,000
1-4④	公共交通の充実をはじめ移動の利便性・快適性の向上	地域公共交通計画を策定している市町村数(累計)	市町村	2021 (R3)	35	2022 (R4)	42	2023 (R5)	45	2027 (R9)	53

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R7年度	予算案	1,212,956		1,212,956	1,093,505		9.0
	要求	1,327,939		1,327,939	1,214,532		
R6年度	19,998	1,153,486	85,500	1,258,984	1,068,399		9.0
R5年度	238,437	765,288	307,344	1,311,069	706,191	1,183,934	8.0
要求からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通最適化推進事業について、公共交通の見直しを加速させるため、必要な経費を追加計上 ・多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業について、昨今の地域課題に対応するため、必要な経費を追加計上 ・タクシー配車アプリ導入支援事業について、事業者において国庫補助金を有効に活用しながら導入を進めることとし、予算計上を見送り ・ドライバー等人材確保支援事業、「交通空白」輸送確保支援事業、公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業、交通DXによる公共交通利用転換事業について、事業内容を精査し、事業費を減額 						

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部 交通政策局	課・室	交通政策課
-----	-------------------	----	----------------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
1	ドライバー等人材確保支援事業	- 千円	17,105 千円	予算案 11,965 要求 29,400 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ドライバー等人材確保支援事業	委託 補助金	求職者向けイベントの開催や、地域就労支援センターへの相談窓口の設置 他都道府県から移住してバスドライバーに就業する者に対し、移住経費を支援 求職者向けセミナーの参加者：100人、他都道府県から移住するバスドライバー：20人	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
2	タクシー配車アプリ導入支援事業	- 千円	- 千円	予算案 0 要求 3,690 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	タクシー配車アプリ導入支援事業補助金	補助金	配車アプリ導入による配車の効率化や利用者の利便性向上に資する取組を支援 タクシーの配車アプリ導入率：16.5%（2022年度）→40%（2029年度）	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
3	地域間幹線バス路線確保維持事業	379,539 千円	497,067 千円	予算案 496,713 要求 496,713 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 補助件数：8件（8者 29系統）、補助額：177,734千円	
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 補助件数：3件（3者 10台）、補助額：15,230千円	
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	県内バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 購入台数：10台、購入額：303,749千円	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
4	運輸事業振興助成補助金	322,962 千円	335,874 千円	予算案 318,034 要求 335,874 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 補助件数：2件（2者）、補助額：318,034千円	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
5	タクシー事業支援総合補助金	6,600 千円	6,600 千円	予算案 6,600 要求 6,600 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	タクシー事業支援総合補助金	補助金	<p>タクシー事業者の経営基盤を強化するため、事業者の運転手確保やバリアフリー化のための取組等を支援</p> <p>UDタクシー導入補助台数:6台、第二種運転免許取得支援者数:30名、運転手確保のための広報(ラジオCM):20日間</p>	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
6	地域公共交通最適化推進事業	24,268 千円	6,676 千円	予算案 16,757 要求 14,764 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	地域の公共交通見直し加速化事業	負担金	<p>【拡】長野県地域公共交通計画で定めた「通院・通学・観光」に必要な移動の品質保証を10地域で具体化するため、必要なデータ整備を行うとともに、地域別部会の伴走支援を実施</p> <p>長野県地域公共交通計画地域編の更新:10地域</p>	
2	地域公共交通計画等策定支援事業補助金	補助金	<p>地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画等の策定に係る経費を支援</p> <p>補助件数:1件、補助額:575千円</p>	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
7	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	743 千円	561 千円	予算案 1,736 要求 758 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	<p>地域交通の課題解消を促進するため、暮らしの足の最適化や観光交通の充実等に取り組む市町村に対し専門家を派遣</p> <p>専門家派遣市町村数:6市町村</p>	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
8	高速乗合バス路線確保事業	- 千円	50,471 千円	予算案 122,815 要求 122,815 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	高速乗合バス路線確保事業補助金	補助金	<p>【拡】長野・飯田間を結ぶ高速乗合バス路線(みすずハイウェイバス)の確保・充実を図るため、実証的に増便し、当該路線の運行に要する経費を支援</p> <p>みすずハイウェイバスの運行便数:4往復便→7往復便</p>	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
9	「交通空白」輸送確保支援事業	- 千円	5,233 千円	予算案 10,000 要求 20,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	「交通空白」輸送確保支援事業補助金	補助金	<p>【拡】公共交通等を地域住民や来訪者が使えない「交通空白」の解消を図るため、国と協働して市町村等に対する伴走支援を行うとともに、NPO法人等に対して自家用有償旅客運送等の開始に要する経費を支援</p> <p>自家用有償旅客運送等を新たに開始する者:15者</p>	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
10	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	31,176 千円	231,308 千円	予算案 215,202 要求 247,992 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県下統一地域連携ICカード整備事業	補助金 負担金	<p>県内公共交通機関におけるキャッシュレス化を推進するため、乗合バス事業者等に対し、地域連携ICカードの導入に係る経費を支援</p> <p>【新】令和8年4月からサービスを開始する県下統一地域連携ICカードの事務局整備等を実施</p> <p>補助件数：7件、補助額：175,423千円</p>	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
11	交通DXによる公共交通利用転換事業	- 千円	2,591 千円	予算案 13,134 要求 49,333 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	交通DXによる公共交通利用転換事業	委託 負担金	<p>インターネットの経路検索サービスへ情報掲載をするための研修会等を実施</p> <p>【新】リアルタイム情報提供手段（バスロケーションシステム）の開発・導入</p> <p>研修会開催：2回、バスロケーションシステム導入：2地域</p>	